

# とちぎ夢大地応援団（11月1日実施）

～ 茂木町河又地区「虹色の里景観整備作業」～

「虹色の里 あじ彩（会長 河又トモイさん以下女性グループ）」協議会主催の里山の景観整備作業が、里の秋真っ盛りの日曜日、老若男女18名の応援団が駆けつけて開催されました。応援団の内訳は強力な森林ボランティア3名、宇都宮大学の先生と学生諸君5名、飛び入り参加の昨年度ジュニア参加した1家族等々バライターにとんでいます。

作業はあじ彩レストランの裏山で、見晴らしの良い古い畑の篠竹や灌木の伐採と除去を行い、その後に柿の苗木10本を植えました。

現地は篠竹の伐採残材が沢山あり、克つ古木の朽ちたものが多くあったことから、作業は困難を極めました。森林ボランティアの方々の指導を得て事故も無く終了出来ました。残材を燃やして処分したついでに焼き芋焼いたり、古木を使った薪割り体験等も出来て楽しい作業となりました。

昼食を兼ねた交流会では、あじ彩会員の方々の手作りメニューに感謝の言葉や、那須烏山市大木須で配布した「地域通貨」を早速使ってピザ焼き体験に参加するなどして、素晴らしい里の秋を味わいました。

拠点のレストランです



今年新規加入した応援団員も



ここ虹色の里 あじ彩は宇都宮市内から県立白楊高校の生徒さん方や、バンビー夢保育園の園児たちが、年に何回か農作業体験や生き物観察に訪れています。特に棚田で手塩にかけたお米は非常に美味で評判が高いそうです。

このレストランは「花工房とランチ」が通年楽しめるオシャレなところです。特に女性ならではの旬の地元素材を生かした料理は評判です。又屋外に大谷石で作ったピザ釜を使ったピザ作り体験も楽しいです。

雑灌木の処分も大変



飛び入り参加の親子も一生懸命です

野火焼きも山の中ならではの



柿の木を植えました



おじさんが薪割りの手本披露



焼き芋がおいしい



古木はピザ釜用の燃料に使えるため、チェーンソーで短く切り、まさかりを使って割ってもらいました。薪割り初体験の若い方々もその技に感激していましたよ。現地でのこのような技術の伝承や、野良でのちょっとした作業の知恵を体験することも、非常に貴重なことですね。

昼食メニュー（棚田米のおにぎり・地元野菜一杯のけんちん汁・サラダ・ヤーコンの漬け物・地元野菜一杯の漬け物・那珂川産鮭のちゃんちゃん焼き・地元栽培の椎茸のバター焼き）は盛り沢山で 「美味・美味」 「満腹・満腹」



森林ボランティアの方々も大喜び



女性の方も大感激でした



子供さんが加わるとひと味ちがいますね



私たちが作りました



里山は手入れが行き届かず、いたるところで篠竹や外来種の「セイタカアワダチソウ」などが繁茂しています。皆さんの応援がとても心強いです。ハチヤ柿の収穫を楽しみに来年も是非来てください。

作業現場で



全員集合です

